

be horrified

～ゾットとする、愕然とする～

フランスのニースでイスラム過激派によると見られる教会襲撃事件が 10 月末に起こり、各国がテロへの非難とフランスへの連帯 (solidarity) を表明しました。預言者ムハンマドの風刺画問題ではイスラム諸国が仏マクロン大統領に強く反発していますが、彼は、表現の自由は国の根幹をなす価値観であると一歩も引きません。異なる宗教への敬意と自由とのバランスをどうとっていくのか、世界中が注目しています。

I was **horrified** to hear about the terrorist attack in Nice.

ニースで起こったテロリストの襲撃について耳にしてゾットしました。

be horrified (ゾットする、愕然とする) という言い回しです。horror film (ホラー映画) の horror (恐怖) から連想すると理解しやすいですね。I am horrified by the terrorist attack in Nice.とも表現できます。

The church attack will **horrify** anyone with any shred of decency and humanity.

教会襲撃は、良識と人間らしさを少しでも持つ誰をもゾットさせるでしょう。

horrify は 1 つ目の例文のように受け身で使われることが多いですが、“A+horrify+B” (A が B をゾットさせる) という形をとることもあります。

decency は「品格、良識」。She is a decent woman.ならきちんとした人間ということ (decent は形容詞)。

shred は「かけら、断片」。聞いたことがなかったとしても、オフィスにある shredder (シュレッター) をイメージすればスツと頭に入ります。the last shred of hope と言えば「最後のかすかな望み」。

I read an article about Syria containing **horrific** pictures of refugee camps.

シリアについての、難民キャンプのゾットする写真が載った記事を読みました。

動詞 horrify のほか、この horrific (ゾットする、恐ろしい) という形容詞や、名詞 horror もよく使われます。

horrific accident、horrific car crash、horrific injury のように事故、ケガ、事件などに絡む言い回しでよく登場します。horrific memories、horrific experience といった使い方や、condition とともに使うこともよくあります。work under horrific working condition といえば「ひどい労働条件で働く」。こうしたネガティブな言い回しも、覚えておくといざというときに役に立ちます。

単語・熟語チェック

shred 一片、かけら

decency 品格、良識

humanity 人間性

refugee camp 難民キャンプ